



## 会長就任ご挨拶

松楠会 会長 藤本 泰雄



去る6月11日の評議員会で会長に推挙され、伝統ある松楠会の会長を務めさせていただくことになりました。松楠会へのこれまでの貢献度や能力的にも適任者ではないことを自覚しております。しかし、梶野雅義会長の強い要望と、香川大学教育学部からこれまでに賜った公私にわたる数多の御恩に報いる機会だと自覚し、お引き受けした次第であります。

さて、香川大学教育学部同窓会である松楠会の歴史を振り返りますと、本学が開校してまもなく、第一回卒業生が同窓会を設立されています。その先人に思いを馳せますと、現在の会則にあります「会員相互の親睦をはかると共に母校と一体となって教育振興の実をあげる」という本会の目的が見えます。しかしながら、当時とは異なり、教育学部から巣立つ人材は、教育関係だけではなく様々な分野で活躍されています。さらには、母校である香川大学、そして、教育学部の存在価値自体が問われる時代であります。

こうした中で、同窓会である松楠会として何ができるのか、何を為さなければならないのかを常に問い続けながら、与えられた使命を果たしていく覚悟でございますので、会員の皆様のご支援とご協力をよろしく願いたします。

終りになりましたが、梶野会長は、香川大学教育学部創立130周年記念事業の実行委員長として本行事を成功裏に導かれました。さらに、その後は会長として本会の充実に努められるなど、その功績に対し、厚く御礼を申し上げます。

## ウクライナを遠くの出来事と思えない日々の中で

教育学部長 野崎 武司



ウクライナの惨事には目を覆うばかりです。悲惨な映像を見ながら、誰もが何かしら不穏な感情を覚えるのではないのでしょうか。冷戦終結というのがソ連の崩壊でした。何かしら形の定まらない世界秩序の揺らぎの中で、アフガニスタンやシリアなどの紛争が繰り返されました。今回のウクライナ問題は、そうしたレベルとは別格に不穏なものを感じさせます。ここからあたたかも世界全体が大きく変容してしまうような、そんな世界の新たなモードへの転換期のようにさえ感じます。

私たちの世界も極めて不安定です。国は大きな借金を抱え、現状維持のため財政赤字は膨らむばかりです。なにかしら仮初の豊かさの中に身を置いているのではないかと思う時があります。豊かさを失わないため、国を争って新技術の開発（イノベーション）へと駆り立てられる。ハイテク産業こそが豊かな未来を約束すると多くの人が信奉し、教育の仕組みもそれに従属されているかのようです。

そうした日本の政策、教育改革の動向を大前提としている中で、ウクライナ問題に直面すると、そうした政策のあらゆることが足場の無い泥沼のような上で展開しているような錯覚を感じてしまいます。私たちの社会の未来を指し示してくれるような力強い社会科学、力強い人文・社会科学こそが求められるのではないかと思います。私たちは次世代に確実に未来を確保しなければなりません。そのために、今何を考えるべきか、真剣に議論しなければならないでしょう。

## コロナ禍における活動

前松楠会会長 梶野 雅義



コロナ禍で理事会や総会が開催できず、書面議決によって会長に就任しましたが、松楠会の活動が例年通りできる見通しはありませんでした。そこで、副会長の4年間に感じていた松楠会の課題等について、対面して開催できた学内理事会で検討することにしました。

一点目は「会則」の見直しです。「規約の文言」「総会（評議員会）、理事会が開催できない場合の対応」「細則」等について検討しました。

二点目は「会計とそれに伴う事業」の見直しです。学生数の減少に伴う収入減に見合うように、事業と予算の縮減を検討しました。この2年間は予定の事業があまりできなかったため、繰越金が増えています。しかし、通常の活動に戻ると予算不足になることが予想されますので、今後も事業と予算の見直しを継続していく必要があると考えています。

三点目は「個人情報を守る中での会員名簿の作成」です。130周年記念事業では、個人情報保護に関する検討が間に合わなかったため、「会員名簿の発行」を断念しました。そのいきさつを踏まえ、令和4年度から「松楠会名簿」の個人情報保護に関することについて検討する委員会を立ち上げる予定です。

以上のことは、ある程度見通しを持つことができました。これは、コロナ禍の中にもかかわらず、副会長・理事長・学内理事・事務局の方々が、回数を重ねて検討していただいた成果であり、心から感謝しております。

理事・評議員の皆様や同窓生の皆様と、対面して活動したり意見交換したりすることができなかったことは、大変残念に思っています。令和4年度はコロナ禍の収束が期待されています。藤本新会長のもと、同窓生の皆様が力を合わせて活動することで、松楠会が益々発展することを祈念して退任の挨拶とさせていただきます。

## 転退職教員

より

### 松楠会に支えられて

佐藤 明宏



松楠会は、香川大学教育学部の同窓会ですが、私は香川大学教育学部とは非常に縁が深く、私の人生は香川大学と共にありました。

学部学生時代の4年間、附属高松小学校教諭の5年間、香川大学教員としての27年間を足すと、36年、私の人生の半分以上は香川大学教育学部と共にあったことになります。また私は香川大学教育学部着任と同時に香川大学松楠会（教育学部同窓会）の学内理事になり、そのうちの8年間は理事長を務めさせて頂きました。理事長時代には、岡山の松楠会支部総会、神戸支部総会、高松の支部総会、善通寺の支部総会、綾歌の支部総会、三木町の支部総会、香川町の支部総会、小豆島の支部総会、その他多くの支部を理事長として訪問させていただき、各支部の皆様の香川大学教育学部を故郷として慕っていただい

ている強い想いに触れ、いつも感銘を受け、勇気づけられてきました。また、松楠会の110周年、120周年、130周年の行事や多くのホームカミングデーのイベントも経験し、松楠会が素晴らしい歴史を持っていることや素晴らしい先輩方、同輩、後輩たちに支えられていることを実感しております。

私はこの3月で、長きに渡ってお世話になってきた香川大学教育学部を退職しましたが、松楠会の会員であることは一生変わりませんので、今後ともよろしく願います。

香川大学教育学部同窓会松楠会の皆様の今後のますますのご健勝とご多幸を祈念しております。

### 定年退職のご挨拶

時岡 晴美



香川大学教育学部には1987年12月に着任し、爾来34年4か月お世

話になりました。この間、大学院教育学研究科や新課程の設置、大学法人化、教員の再配置など、大学は改革続きでした。私は着任早々教育学部将来構想特別委員に指名されて以来、学部改革案の策定や各種委員会の改革等に、学長特別補佐となってからは大学全体の改革構想に、附属高松中学校長や教育学部副学部長を併任後は附属学校の将来像の検討に携わるなど、変化の荒波と格闘しつつ走り続けてきました。

特に、人間発達環境課程の構築と学生指導に深く関わってきました。新入生合宿や課程共通カリキュラム、人間環境教育コースのプロジェクトなど講義以外のカリキュラムも多く、教員養成課程の授業も担当しながらハードな日々でした。とはいえ、手元にある多数の写真や報告書を紐解けば、多様な学生たちと濃い時間を過ごしてきたことを実感します。皆さまのご厚情に心より感謝申し上げます。

令和5年度には、四国の国立大学が連携して新たな教職課程が発足する予定です。今後も大学改革は継続すると予見されますが、混迷の時期にこそ個人の繋がりが重要になります。教員養成課程の更なる可能性を見据えて益々の発展を祈念しています。

なお、私は4月から特命教授として勤務します。研究室も変わらず続きますので、宜しくお願いします。

## 御礼申し上げます

津山 勝義



4年程前に中学校長を最後に定年退職し、ご縁があって教職大学院で教員育成に務めさせていただきました。また、令和2年度から松楠会の副会長も務めさせていただきました。会運営に微力でしたが参画させていただきました。

4年間のうち、前半は学部を卒業した院生や現職教員の院生を指導することに戸惑い、後半はコロナ禍の中で遠隔授業をすることに戸惑いました。しかし、院生と共に、教職生活で培った実践知を多様な理論と関連させて試行錯誤しながら整理し、ICTを活用した教育活動の可能性について共に検討することができました。また、副会長として、予算等について時代の変化に対応した変革を提言いたしました。

令和3年度末で教育学部を辞し、併せて副会長も

辞任し、新たに直島町教育委員会教育長として直島町の教育・文化・スポーツの充実発展に専念させていただいております。日々の教育行政に携わりながら、教職大学院並びに松楠会のおかげで見識を深められ、今日の職務遂行ができていと常々感謝しております。

充実した4年間をありがとうございました。松楠会の益々のご発展、会員の皆様のご清栄、ご健勝を心よりお祈り申し上げます。

## 感謝の3年間

久米 亜弥



交流人事教員として着任し、早3年の月日が流れました。私自身本校の卒業生であり、ご縁が深いこの大学に今回は教員という立場で学生に関わる事となり、「私はここで何をすべきなのか」と、楽しみよりも不安の方が勝っていたことを覚えています。

しかし、「先生を目指して頑張りたい」と願書や指導案を持って研究室に訪ねてくる学生達や「実際の小学生の様子や、学級担任の立場からどのような指導をしているのか話してほしい」と言ってくれる先生方に、私がここにいる意味を教えていただいたような気がしました。また、学生の支援や卒業研究の指導を行う際、コロナ禍にもかかわらず公立小中学校の校長先生方が「教師を目指す学生のために」と、授業参観や講話、インタビュー等快くお引き受けくださり、松楠会の先輩方の優しさや繋がりに深く感謝した3年間でした。

もう一つ印象深い出来事として、小学校の教え子に再会し「これまで出会った大好きな先生方が皆香川大学出身と知り、ぜひ自分もこの大学で学び、教師になりたいと思いました。」と言われたことがあります。松楠会の皆様方の紡いだ糸が脈々と受け継がれる様を目の当たりにし、本当に誇らしく嬉しい気持ちでいっぱいになりました。3年間お世話になりました。ありがとうございました。

最後になりましたが、香川大学教育学部、並びに松楠会の今後ますますのご発展、会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

## 母校教員の異動

### 退職

令和4年 3月31日	退職(定年)	石川 徹	教授	R4.4.1 付け名誉教授
	退職(定年)	佐藤 明宏	教授	R4.4.1 付け名誉教授
	退職(定年)	時岡 晴美	教授	R4.4.1 付け名誉教授
	退職	久米 亜弥	准教授	交流人事教員
	退職	津山 勝義	特命教授	高度教職実践専攻
	退職	谷川 博史	特命教授	教科教育分野(美術)

### 採用

令和4年 4月1日	採用	河合 史子	講師	教科教育分野(社会)
	採用	尹 智博	准教授	教科教育分野(美術)
	採用	倉野 晴代	准教授	交流人事教員
	採用(継続)	大西 えい子	特命教授	教科教育分野(家庭科)
	採用(新規)	佐藤 明宏	特命教授	教科教育分野(国語)
	採用(新規)	時岡 晴美	特命教授	教科教育分野(家庭科)
	採用(継続)	野村 一夫	特命教授	高度教職実践専攻
	採用(新規)	久保 朗	特命教授	高度教職実践専攻

### 称号付与

令和4年 4月1日	附属教職支援開発センター	客員教授	日下 哲也
	附属教職支援開発センター	客員教授	藤崎 裕子
	附属教職支援開発センター	客員教授	尼子 智悠

### 併任

令和4年 4月1日	併任(新規)	山本木ノ実	附属高松中学校長
	併任(新規)	笠 潤平	附属坂出中学校長
	併任(継続)	植田 和也	附属高松小学校長
	併任(継続)	坂井 聡	附属坂出小学校長・幼稚園長
	併任(継続)	青山 夕夏	附属特別支援学校校長
	併任(再任)	松村 雅文	附属特別支援開発支援センター長
	併任(継続)	櫻井 佳樹	評議員
	併任(継続)	若井 健司	副学部長 評価・財務担当
	併任(継続)	高木由美子	副学部長 連携・附属担当
	併任(新規)	平 篤志	副学部長 人事・国際交流担当
	併任(新規)	柳澤 良明	副学部長 学生生活支援担当
	併任(継続)	竹森 元彦	教授 医学部
	併任(継続)	橋本 忠行	教授 医学部
	併任(継続)	山田 俊介	教授 医学部
	併任(継続)	林 智一	教授 医学部

### 昇任

令和4年 4月1日	教授	宮本 賢作
	教授	守田 逸人
	教授	渡邊 史郎

## 松楠会支援事業

令和3年度松楠会支援事業の活動報告は、松楠会ホームページをご覧ください

### 令和5年度松楠会支援事業の募集

高校生以下の児童・生徒を対象にした青少年の健全育成事業、教育活動事業などに対する松楠会支援事業を下記の要領で募集します。

- 支援する事業は、松楠会の会員が企画・実施の中心になっているもので、1事業につきおおよそ15万円を上限とする。
- 提出書類……………(1) 企画書 (2) 予算見積書 (3) その他参考資料等
- 応募締め切り……………令和5年1月31日(火)
- 提出先及び問い合わせ先……………〒760-8522 高松市幸町1-1 香川大学 教育学部同窓会 松楠会事務局  
TEL: 087-832-1414  
メールアドレス: syounan@kagawa-u.ac.jp
- 備考……………(1) 同一事業の採択は、4回目までとします。  
(2) 選考結果については2~3月中に通知します。  
(3) 対象となる児童・生徒に募集案内チラシ等を配布する際には、この事業が松楠会(香川大学教育学部同窓会)の支援を受けていることを明記し、そのチラシを企画書または、報告書に添付して提出してください。

参考

	企画名	申請者
令和4年度支援事業	ものづくり体験INさぬき	代表 頼富 康子
令和3年度支援事業	ものづくり体験INさぬき	代表 頼富 康子
	感動体験! 松楠会杯 水ロケット甲子園2021	代表 金関 太郎

# 支部だより

## 高松 支部 Takamatsu



### 参加意識の高まりを

コロナ禍、会員のつながりの維持・充実に苦慮しています。若手教員による研修の様子や会員の思い・状況、教育学部の現況なども発信し、会員のつながりを強めたり、事業への参加意識を高めたりしたいと考えています。また、総会参加年齢層の変化を踏まえ、役員の増員や研修内容の工夫などにも取り組みたいと考えています。「気軽に参加できる総会」を基本に、多様な情報を発信し、多くの皆様に参加いただけるよう努力を重ねています。

後藤 文男（教育・昭和46年卒）

## 丸亀 支部 Marugame



2年間、丸亀支部は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、慶弔活動以外の活動は休止していました。これは、支部結成以来、初めてのことだと思います。

本年度は、ぜひ全部の活動を再開したいものです。退職した先輩・後輩・現役の会員が語り合う活動を、もう一度、やりましょう。

支部会員の皆様、楽しく思い出深い活動に、ご参加ください。

前田 伸雄（学芸・昭和40年卒）

## 坂出 支部 Sakaide

松楠会坂出支部は、令和3年度は地区会員100名、現職会員122名の計222名で活動しています。

令和3年度も附属坂出学園4校園が実施している若年教員や地域のニーズに応じた研修会への支援を行いました。引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、総会が中止となりましたが、評議員会では今後の活動についてご意見をいただきました。こども園や幼稚園、小学校、中学校の先生方の支援を継続しつつ、支部会員の交流ができる方法を探りながら繋がりを深めていきたいと思ひます。



若年研修  
幼稚園での研修



若年研修  
特別支援学校での研修

鈴木 弘恵（教育・平成元年卒・香川中部養護学校）

## 大川 支部 Okawa

令和3年度も、松楠会大川支部総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。総会資料の送付により総会に代えました。会員の皆様は、寂しく感じておられることと思います。5月27日には、大川支部役員が集まり、支部の組織や会則改正案について話し合いが行われました。

今後も、新型コロナウイルスに関しては、対応が必要な状況が続くと思われます。コロナ禍での会員研修や懇親の在り方等を探ってまいりたいと考えています。

渡邊 ひとみ（教育・昭和61年卒・さぬき市立長尾小学校）

## 小豆 支部 Syozu

### 開店休業中

当小豆支部は、現職教員・退職者合わせても120名あまりの小さな支部です。活動内容としては、役員

会と全会員参加を建前としての総会が全てです。

しかし、この令和2年度・3年度においては、コロナ禍のためひたすら密になるのを避けて、会員が集合しての会合は控えざるを得ませんでした。

まさに開店休業そのもので、営業活動は全くできてないのが実情です。

坂下 公臣（学芸・昭和37年卒）

## 木田 支部 ————— Kita

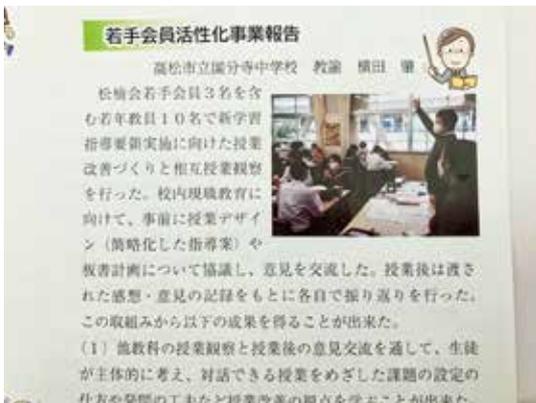
松楠会木田支部の活動は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため総会が中止となりましたので、昨年度と同様7月30日（金）に三木町立平井小学校で行われました役員会のみとなりました。

役員会では、総会に関する協議（書面決議を行う）の他に、木田郡内での情勢について情報を共有することができました。

新型コロナウイルスに関しては予断を許さない状況が続いていますが、今年度は8月の総会並びに研修の準備を進めていこうと考えています。

児玉 博美（教育・平成2年卒・三木町立平井小学校）

## 綾歌 支部 ————— Ayauta



コロナも収まり、心機一転のつもりで時期を5月から8月へ、また、場所も変更して計画していた昨年（3年）度の総会も残念ながら、新型コロナウイルスにはお手上げ、やむなく中止となりました。

しかし、7号目を迎えた綾歌支部だよりは、紙面が足りないほどの投稿をいただき、これはうれしいお手上げでした。OB会員（計155名）の近況報告はもとより、現職会員（計169名）の先生たちのコロナに負けじと頑張るエネルギッシュな声もたくさん寄せられました。若手会員活性化事業の紙上発表（写真）もあり、支部だよりが会員の情報源、交流の場となり、コロナ禍の今を乗り越える元気の発信源とも

なっていることに感謝と意義を感じています。

4年度の総会（8月20日（土））こそは、“3度目の正直！”となることを祈るばかりです。

鷺辺 達子（教育・昭和45年卒）

## 仲善 支部 ————— Tyuzen



仲善支部では、OB会員190名、現職会員143名の計333名が本支部に所属しており、毎年総会と新年祝宴の会を盛大に開催しています。懇親の場では会員が講師になり、吟詠やヴァイオリン演奏、折り紙教室、絵画パフォーマンス等を行っております。どの活動も会員の皆様に好評で、毎年楽しみにしてくださっています。

昨年度は、残念ながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、総会および新年祝宴の会を中止せざるをえなくなり、慶弔活動や会報の配布、会員名簿作成のみの事業となってしまいました。早く収束して、会員が安全・安心に集えるような状況になることを願っています。

さらに、幅広い年齢層の会員が参加して下さるように、現職の会員にも参加を呼びかけ、魅力ある活動にしようと、努力を続けております。

横田 孝志（教育・昭和53年卒）

## 三観 支部 ————— Sankan

三観支部では、2年に一度総会を行っています。前回（令和2年）はコロナ禍で中止となり、今年こそはと思っておりましたが、第6波の影響で残念ながら今回も中止となりました。通常の総会では、各地区の理事が集まり、記念講演を行うとともに会食をしながら再会・無事を喜びあっています。

総会のない年には、三観支部会報誌を発行し、教員時代に情熱を傾けてきた事柄・退職後の生きがい・総会の様子・会員の状況等についての報告をしています。

また、三観支部では、グループ活動研修補助として、年間5000円の助成も行っています。現在は、様々な活動がコロナ禍で下火になっていますが、状況が



改善すれば、同窓の仲間同士、親交を深める活動を再開したいと思っています。

細川 芳樹（教育・昭和52年卒）

## 兵庫 支部 ————— Hyogo

兵庫支部（紫雲会）で、コロナ禍のため、2年間総会等の行事が出来ませんでした。また、役員会をオンラインで実施しました。人とのつながりが出来なく苦しい状況です。しかし、今年は総会等を実施できることを願っています。9月か10月頃に総会、1月頃に若手懇親会と考えています。兵庫県下は広く、支部会員は約290名います。支部会員全員が集まることは厳しいですが、このような時こそ、仲間が集えるようにしたいと考えています。

木岡 正雄（教育・昭和48年卒）

## 岡山 支部 ————— Okayama

岡山支部は、例年8月の山の日に総会・懇親会、11月に秋の支部行事を開催して会員の懇親を深めてきました。一昨年度から2年間は、新型コロナウイルス蔓延防止の観点から、総会懇親会をやむなく中止しました。昨年は、秋の支部行事も中止することになり、寂しく思っています。

総会懇親会には、本部からのご来賓をお迎えして親交を深めるとともに、総会後の研修会で、最新の教育課題についての研修を深めてきました。

秋の支部行事は、令和元年度から県内の各地を訪れ、その地の歴史や特徴を知り岡山の良さを見直す



令和2年度 矢掛探訪より

活動をしています。第1回目は高梁市に、2回目は本陣の町矢掛町を訪れ、その地の歴史と文化に触れることが出来ました。

普段はなかなかお会いできない方にもお会いでき、親交を広げることができる活動をしていきたいと思っています。

小林 巧（教育・昭和55年卒）

## 徳島 支部 ————— Tokushima

松楠会徳島支部は、14の支部の中では最も新しい支部です。今年は、新型コロナウイルス感染予防のために実施しませんが、毎年、夏に総会並びに親睦会を行っています。親睦会には20名ほどが参加し、近況報告やなつかしい大学時代の話などで盛り上がっています。今後も人と人との繋がりを大切にしながら、松楠会徳島支部を活性化していきたいと考えていますのでご協力をお願いします。

橋本 隆（教育・昭和59年卒・北島町立北島小学校）

## 「松楠会報」と 「ようこそ松楠会へ」が 合冊 になります！

支部会員の皆様にお届けする7月発行の「松楠会報」と、香川大学教育学部・教育学研究科の卒業・修了時に学生へ配付する3月発行の「ようこそ松楠会へ」が合冊になります。次回より、会員の皆様には、より充実した情報をお届けいたします。



# 令和4年度松楠会役員

\*は、今年度新しく交代された方です。

## 役員

- 会長** 藤本 泰雄\*  
**副会長** 中西真理子  
 貞廣美津子  
 木村 彰彦\*  
**顧問** 野崎 武司  
**理事長** 植田 和也  
**学内理事** 小野 安司 山神 眞一 西田 智子 坂井 聡 片岡 元子 山本木ノ実  
 宮本 賢作 塩井 実香 中島栄美子 清水 顕人 大浦みゆき 高橋 智香  
 稗田 美嘉 大西えい子 谷口 弓恵 倉野 晴代\*  
 (但し、谷口、倉野の学内理事期間は、人事交流の期間とする。)  
**附属理事** 轟 秀明\*(高松)  
 榎並 浩\*(坂出)

## 支部事務局

	郵便番号	住 所・勤務校	担当者
高 松 支 部	761-8084	高松市一宮町672-1 高松市立一宮小学校	香西 謙二*
丸 亀 支 部	763-0071	丸亀市田村町973 丸亀市立城南小学校	守家 恵子*
坂 出 支 部	762-0024	坂出市府中町綾坂889 香川大学教育学部附属特別支援学校	榎並 浩*
大 川 支 部	769-2301	さぬき市長尾東901-1 さぬき市立長尾小学校	渡邊ひとみ*
小 豆 支 部	761-4426	小豆郡小豆島町馬木甲68-5	坂下 公臣
木 田 支 部	761-0702	木田郡三木町平木710-1 三木町立平井小学校	児玉 博美
綾 歌 支 部	769-0105	高松市国分寺町柏原1034	鷺辺 達子
仲・善 支 部	766-0005	仲多度郡琴平町苗田160-2	横田 孝志
三・観 支 部	768-0060	観音寺市観音寺町甲2558-1 観音寺市立観音寺小学校	新田 秀樹
愛 知 支 部	489-0877	愛知県瀬戸市東赤重町1-38-1	糸 綾子
大 阪 支 部	567-0884	大阪府茨木市新庄町6-8	信垣 綾子
兵 庫 支 部	651-2277	兵庫県神戸市西区美賀多台4-7-20	木岡 正雄
岡 山 支 部	701-1211	岡山県岡山市北区一宮892-9	小林 巧
徳 島 支 部	771-3201	徳島県名西郡神山町阿野五反地187-1	大草 晴香

# 事務局報告

令和3年度評議員会（総会）の報告については、松楠会ホームページをご覧ください。

### 令和3年度 松楠会支援事業

- 少年少女ものづくり体験INさぬき（大川支部 代表 頼富 康子 他）
- 松楠会杯 かがわ水 Rocket 甲子園2021（綾歌支部 代表 金関 太郎 他）

### 令和3年度 学生支援事業

- 第15回わくわくコンサート（令和4年2月6日（日） サンポートホール高松）

### 令和3年度 表彰者

- 山本正幸 『香川の生き物たち』 出版 2万円
- 清水顕人 『さあ始めよう 道徳科授業づくり入門』 出版 2万円



## 地域の未来を拓く子どもを育てるために



高松市立香西小学校 教頭 佐藤 盛子

コロナ禍で子どもたちの活動が制限され、学校だけでなく地域の行事にも大きな変化がありました。この町で生まれ育った子どもたちが毎年心待ちにしているお祭りや、なじみの人たちと一緒に故郷を歩く「歩こうふるさとの道」という行事も中止になりました。子どもたちは、「宇佐八幡宮の秋祭りが大好き。獅子や奴をまたやりたいな。」「山とか川とか、自然がいっぱいだから大好き。また、遊びに行きたいな。」と再開を心待ちにしています。

祭りなどの地域古来の文化は、その地域にしかない、かけがえのないもの。それらの多くは、時代を超えて受け継がれており、その地域に住む人々にとって身近で、とても大切なものです。子どもたちは、祭りに参加するなど地域の行事に関わることで、自然に地域の文化に対する理解を深め、その大切さに気付いていきます。そして、コミュニティに対する帰属意識を向上させていきます。つまり、幼いころから地域との関わりを持たせることで、地域のことを地域に住む子どもたち自身に意識させることができ、将来の地域の活性化に繋がると考えられます。しかし、今は子どもたちが参加できる地域の行事が限られているため、学校でいかに地域の文化を学ばせるかが課題となっています。

香西小学校では、地域のことを学ぶため、香西地域をテーマに詠まれた「香西ふるさとカルタ」を使っています。子どもたちは朝の時間にこのカルタで遊びながら、地域の文化を楽しく学んでいます。各学年でカルタ大会も開催しました。また、高学年の子どもたちの中から有志が集い、中止になった「歩こうふるさとの道」の代わりに「ミニ歩こうふるさとの道」というプロジェクトを立ち上げ、校内で実施してくれました。地図や写真で地域のことを学ぶというこのプロジェクトは、低学年の子どもたちにもたいへん好評で、笑顔の輪が広がりました。

子どもたちに故郷への誇りや愛着をもってもらうため、教育現場でも保護者や地域の方々の協力を得ながら、地域の素晴らしさに触れられるような取り組みを続けていきたいと思っています。



### 編集後記 ■ ■ ■

■ コロナ禍での自粛生活も3年目を迎えました。今年度はコロナ感染拡大予防対策を十分に行って理事会等を開催するなど、徐々に同窓会活動が再開しつつあります。コロナ禍でもできることや新たな取組等、これからも人と人がつながれる松楠会でありたいと願っています。今後とも、松楠会をどうぞよろしくお願いたします。

松楠会ホームページ

松楠会

検索

<http://www.ed.kagawa-u.ac.jp/~syounankai/>



松楠会報

第59号

発行日 令和4年7月5日

発行人 藤本 泰雄

植田 和也

編集 山本木ノ実

中島栄美子

片岡 元子

清水 顕人

瀧岡 歌織

香川大学教育学部同窓会 松楠会